

子どもの権利条約総合研究所 研究総会

5月24日
公開シンポジウム

2025 5/24(土) ▶▶ 5/25(日)

学校は子どもの権利学習をどう進めるか —人権教育の課題と展望—

今、日本ではこども基本法の制定以降、「学校で子どもの権利を学びたい」という子どもたちの声が上がっています。学校現場における権利学習、人権学習は今後どうあるべきか、国連では、「人権教育のための世界プログラム」が第5段階に入っている中で、子どもたちと一緒に
なって話し合っていきたいと思います。

日時：2025年5月24日（土）午後1時—5時

会場：早稲田大学戸山キャンパス33号館（16階）第10会議室

参加費：研究員無料・一般1,500円(資料代)

コーディネーター：浜田 進士（CRC研究所関西事務所）

甲斐田万智子（国際子ども権利センター）

I 基調報告

国連「人権教育のための世界プログラム」の最前線

—第5段階で求められていること：平野 裕二（子どもの人権連）

II 子どもによる子どもの権利学習

○子どもがつくる子どもの権利学校—Leaf College Projectの取り組みから
：運営メンバーの子どもたち

○「なんでやねん、すごろく」を通した権利の学び
：子どもの権利条約関西ネットワーク（西成の子どもたち）

III 学校現場と人権・権利学習のこれから

○学校現場から子どもの権利の学びを考える：伊藤 義明
（北海道河東郡音更町立駒場小学校教員）

○弁護士が進めるいじめ防止授業づくり - 平尾 潔（弁護士）

○自治体が行う学校での権利授業報告—西東京市の事例 - 谷川 由起子
（杉並区子どもの権利救済委員 / 前・西東京市子どもの権利擁護委員）

[申込はこちら！\(5月18日まで\)](#)

お問い合わせ・お申込み先

子どもの権利条約総合研究所事務局

電話・FAX：03-6421-2017（第2・第4金曜日 10:30～16:30）

E-mail：contact@npocrc.org



5月25日
研究発表会

自由研究発表会

5月25日(日)10時～12時30分

会場：早稲田大学戸山キャンパス33号館232教室

自由研究発表の申し込み先： contact@npocrc.org (4月25日まで)

課題研究発表会

研究テーマ：子ども参加と条例の研究

5月25日(日)14時～17時

会場：早稲田大学戸山キャンパス33号館232教室

参加費：研究員無料・一般1,000円(資料代)

課題研究＝CRC研究所：子ども参加共同研究チーム（子ども参加研究会）

進行：林 大介（東洋大学）・竹原 幸太（都立大学）

○子どもの権利条例と子どもの意見表明・参加権保障の現代的課題

－「子ども参加条例」の可能性を探る：喜多 明人（早稲田大学）

○世田谷区「一部改正」子ども条例（改称：子どもの権利条例）の制定と課題

－中学生・高校生で構成する子ども条例検討プロジェクトの活動をふまえて

：佐藤 亮（子ども・若者部子ども・若者支援課）

○「子ども参加条例」をめぐる動き・事例紹介

・日本の子ども参加条例の動き－川西市の事例から

：浜田 進士（川西市子どもの人権オmbudsパーソン）

・韓国の子どもの参加条例の動き－ソウル特別市ノウォン区の事例から

：安 ウンギョン（平成国際大学）



国連NGO・特定非営利活動法人

子どもの権利条約総合研究所

General Research Institute on the Convention on the Rights of the Child